

ドライバーについて2008年からゴルフ規則が変更されます

2008年（平成20年）1月1日から、R&A／全米ゴルフ協会（USGA）のテスト基準を超えるスプリング効果をもつ『高反発ドライバーヘッド』はゴルフ規則に不適合となり、使用することができなくなります。

この規則変更はすべてのゴルファーに対して適用されます。

これに伴い、当倶楽部開催の競技にも適用され、不適合クラブを使用した場合は失格となります。また、倶楽部で高反発クラブについて使用を認めるローカルルールを制定することはできません。

2008年1月1日迄に、ご自分のクラブがゴルフ規則に適合かどうかの確認をお願い致します。

確認は、日本ゴルフ協会（JGA）のホームページ（アドレス <http://www.jga.or.jp>）から適合ドライバーヘッドリストを検索するにより可能です。またメーカーによっては販売の際に識別できる表示をしています。

なお、1999年1月1日より前に市場に出ていた全てのドライバーは上記リストに掲載されていなくても原則適合とみなされます。

*ご注意

適合ドライバーヘッドリストはR&A（英国）のホームページに掲載されており、JGAからR&Aにリンクされております。このため全て英語表記です。またリストは毎週月曜日（日本時間9:00）に更新されリストを全て印刷すると300ページを超えます。

なお、御参考までにJGAより加盟倶楽部宛に送付された文書を添付致しました。

以 上

平成 18 年 10 月 19 日

各 加 盟 倶 楽 部 殿

(財)日本ゴルフ協会
規則委員会 用具審査部会
部会長 大橋 一元
(公印省略)

2008 年 1 月 1 日以降ゴルフ規則に定められた一定の基準を超える「高反発クラブ」は不適合クラブとなりますが、これに関して日本ゴルフ協会にその対応について多くの質問が寄せられております。

それについて当委員会として規則周知徹底を計るため基本的な質問をまとめましたので参照下さい。

なお、本文書を倶楽部の掲示板、出版物等に転載していただいても構いませんので、できるだけ広く周知いただきますようご協力お願い致します。

Q1. 2008 年 1 月 1 日以降に高反発クラブが使用できなくなるのは日本だけですか？

A1. 高反発クラブの禁止は世界統一のゴルフ規則で規定されます。したがって、世界中でプロ、アマ問わず全てのゴルファーにこの規則は適用されます。

Q2. 2008 年以降高反発クラブを次の競技で使用した場合そのスコアをどう扱うべきか？

- A 公式競技のスコア
- B クラブ競技のスコア

A2. A, B はもちろん、ゴルフ規則に基づいて行われる競技で規則に違反した用具(クラブ以外も含む)を使用した場合、そのプレーヤーは競技失格となります。

Q3. 2008 年以降、高反発クラブを使用して作られたスコアを JGA ハンディキャップ申請用のスコアとして使えますか？

A3. JGA ハンディキャップ申請用のスコアとして採用することは出来ません。

- Q4. 倶楽部で高反発クラブについて使用を認めるようなローカルルールを制定することはできますか？
- A4. 高反発クラブそのものがゴルフ規則に不適合クラブとなりますので、倶楽部でその使用を認めるローカルルールを制定することはできません。
- Q5. 倶楽部側で違反クラブを使っていないかどうかチェックしたほうがいいですか？
- A5. その必要はありません。ゴルフ規則に適合しているクラブかどうかの確認はゴルファー自身が行わなければならないからです。ただし、クレームなどがあって確認する場合は別です。
- Q6. ゴルファーが違反クラブと承知の上で高反発クラブを使用してラウンドすることを倶楽部としてどのように対応すべきですか？
- A6. ゴルフ規則に基づいて行われる競技では当然競技失格となります。悪質な場合は懲戒処分を検討すべきです。しかし、競技とは関係なしにレクリエーションでプレーすることについて、ゴルフ規則は関知しておりません。ただし、スコアは正当なスコアとして採用されません。
- Q7. 2008年1月1日以後、自分のクラブが適合かどうかの確認はどのようにするのですか？
- A7. 当協会のホームページ (www.jga.or.jp) に掲載されている適合ドライバーヘッドリストで検索することができます。また、メーカーによっては販売の際に識別できる表示をしています。
- ※ ゴルフ規則ではプレーの規則だけでなく、用具についても規定されています。ゴルフ規則に基づいてプレーするという事は、用具の規則に適合した用具を使用しなければならないということです。

以上